

北海道で日本脳炎ワクチンが始まります。

2016.04.04

長かったインフルエンザの流行もようやく下火になりました。A型とB型両方になるお子さんもいて子どもたちには試練のシーズンでした。しかし、ワクチンは昨年よりは効いていて、ワクチンの改良が実感できたシーズンでもありました。

4月になって北海道に住んでいる子どもたちに日本脳炎ワクチンが公費接種という形で実施できるようになりました。

日本脳炎ワクチンの接種時期は3歳以降が推奨とされています。行政側からは3歳、5～6歳、18歳の年齢層に分けて接種券の初期郵送を行っているようです。

3歳に約4週の間隔で2回、2回目の1年後に3回目、その5年程度後に4回目を接種するというのが標準的な接種方法です。

6歳から接種を始める人は7歳半までの接種時期までどのくらい時間が残っているのかによって接種方法が変わりますので、かかりつけの先生とよく相談して接種を行ってください。

18歳以降のお子さんは20歳未満まで接種券が有効ですので、できるだけ多く公費で接種できるように1回目の接種の後は1週間で2回目、その後6か月以上開けて3回目、その後1週間後に4回目を基準として考えていくことになります。残念ながら途中で20歳になってしまったらその後は公費接種として実施することができません。接種券が届きましたら、できるだけ早期に接種を開始するようにしてください。

関東以西とくに関西圏以西は日本脳炎ウイルスに感染したブタが多くいるといわれています。千葉県では昨年0歳児の日本脳炎感染が報告されています。それらの地域に帰省などでよく行くお子さんは6か月以降であれば日本脳炎ワクチンを接種することが可能です。また、7歳6か月から9歳までのお子さんは予防接種法の規定で接種はできませんが、それ以外の年齢ではきょうだいの接種に合わせて接種券が送られていない人でも接種することが可能です。その場合には役所にお問い合わせください。